

平成31年度第1回教育研究評議会議事要旨

日 時 平成31年4月10日(水) 16時31分～16時55分

場 所 第1会議室

出席者 22名

和田学長, 江頭理事(総務・財務担当副学長)
鈴木理事(教育担当副学長), 近藤副学長,
高橋評議員(保健管理センター所長), 尾形評議員(言語センター長),
佐野評議員(CGS教育支援部門長), プラート評議員(CGSグローバル教育部門長),
穴沢評議員(国際連携本部長), 松本評議員(経済学科長),
林評議員(商学科長), 多木評議員(企業法学科長),
沼澤評議員(社会情報学科長), 中川評議員(一般教育系学科主任),
金評議員(現代商学専攻長), 齋藤評議員(アントレプレナーシップ専攻長),
中島評議員(経済学科教授), 坂柳評議員(商学科教授),
片桐評議員(企業法学科教授), 佐山評議員(社会情報学科教授),
中村評議員(一般教育系教授), 山田評議員(言語センター教授)

公欠者 2名

平沢評議員(情報処理センター長)
李評議員(CGS産学官連携推進部門長),

欠席者 1名

堺評議員(アントレプレナーシップ専攻)

議事に先立ち, 議事に先立ち, 事前に配付している前回(3月20日)及び前々回(3月5日)開催の教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 名誉教授の称号授与について

加地前称号授与審査委員会委員長から, 審議資料1に基づき, 名誉教授の称号授与について諮られ, 審議の結果, 原案どおり承認された。

議題2. 特認教授の称号付与について

加地前称号授与審査委員会委員長から, 審議資料2に基づき, 特認教授の称号付与について諮られ, 審議の結果, 原案どおり承認された。

議題3. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

和田学長から, 本学の学長選考会議学内委員3名のうち2名, 加地太一委員と小林友彦委員の任期が平成31年3月31日をもって満了したため, 後任の委員について, 本

学組織・運営規程第4条第2号の規定に基づき、本会議から2名を選出したい旨提案があった。

また、委員の任期は、学長選考会議規程により教育研究評議会評議員の任期と同一となる旨発言があった。

その後、和田学長から、委員の選出方法については、従前どおり投票によることとし、以下の方法で行いたい旨提案があり、了承された。

○学長選考会議委員の選考方法

1. 単記無記名投票により、得票上位の者2名を学長選考会議委員として選出する。
2. 得票が同数の場合は、得票同数の者についての再投票を行う。
3. 再投票を行った結果、再度、得票が同数になった場合は、年長者を委員として選出する。
4. 開票の立会いについては、金現代商学専攻長に依頼する。

引き続き、投票が行われ、開票の結果、得票上位2位までの者として、金評議員、沼澤評議員、尾形評議員が選出された。

その後、3名による再投票が行われ、尾形評議員、沼澤評議員が学長選考会議委員として選出された。

その後、尾形評議員、沼澤評議員に就任の承諾が確認された。

議題4. クロスアポイントメント制度に係る協定締結へ向けた協議開始について

和田学長から、審議資料4に基づき、クロスアポイントメント制度に係る協定締結へ向けた協議開始について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件については、4月22日開催の役員会に附議し、協定書の案がまとまった後に、改めて本教育研究評議会に諮る旨発言があった。

議題5. 学内教員定員管理の方針の一部改正（案）及び定年退職後の不補充に関する方針の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料5に基づき、学内教員定員管理の方針の一部改正（案）及び定年退職後の不補充に関する方針の一部改正（案）について、審議資料5の1ページ、「別表」の教授の学科枠合計を56から57に修正した他、9ページ目の第5項目を削除したうえで、諮られ、審議の結果、承認された。

承認後、和田学長から、本件については、本日付けで施行する旨発言があった。

報告事項 1. 大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻に対する認証評価結果について

和田学長から、報告資料 1 に基づき、大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻に対する認証評価結果について報告があった。

以 上